

令和5年度「第15回高知市医師会 市民フォーラム」 趣意書

「人生の最終段階にむけての終活

～自分の意志で自らの最期を考える～

日時：令和6年3月2日(土) 午後2時開演

会場：総合あんしんセンター3階 大会議室

高知市医師会では第1回市民フォーラムを平成21年度に開催してから、毎年1回、実施しています。コロナ禍で開催を断念したり、テレビ放映に変更した年もありましたが、昨年は4年ぶりに通常開催しました。新型コロナウイルスは令和5年5月から5類に分類され、夏には第9波の流行に入りましたが、今年も第15回の開催に向けて準備をしています。

第15回高知市医師会市民フォーラムは、「人生の最終段階にむけての終活～自分の意志で自らの最期を考える～」をテーマにしました。近年、終活という言葉が耳にすることが多くなっていますが、終活とは何を？どんな準備が必要？終活などという歳でもないし、まだまだ先のこと。もっと差し迫ってから考えてもよいのでは？など、終活とは何するかわからないことだらけで、先延ばしにすることが多いのではないのでしょうか？

終活ではたくさん整理する項目があり、自分の今の状況を振り返りながら、その時の気持ちで準備をします。後に残る者に、自分にしかわからない事細かな内容を書き残すことができ、同時に、自身を振り返る良い機会にもなります。終活を考える時期により内容が変化するのは当たり前。何度でも考え直し、繰り返し訂正していきます。真の終末になる前から少しずつ準備をしても、早過ぎることはありません。高齢になって、考えたり整理することが億劫になってくると、自らの終活を考えることも面倒になります。予期せぬ認知症の進行や突然の事態に見舞われ、準備することができなくなるかもしれません。

今回はこの終活をより具体的に理解するために、人生会議って何？エンディングノートとはどんなノート？終活に向けての法律は難しいこと？などをわかりやすく解説するために、当医師会・高知市在宅医療介護支援センター・弁護士の三人の講師から、市民の皆様にも少しでも役立つ話をしたいと考えています。

演題・講師

1. 地域包括ケアと人生会議
演者 廣瀬大祐高知市医師会副会長
2. 話し合っ自分で作るエンディングノート
演者 藤原里菜介護福祉士(高知市在宅医療介護支援センター)
3. 終活準備で知っておきたい法制度
演者 中島香織弁護士(あさひの風法律事務所)

来場者からの質問にお答えする時間もあります。コロナ感染者急増の場合は、やむを得ず中止となる場合もあることをご了承ください。

お問い合わせ先：高知市医師会 市民との対話推進委員会

TEL (088) 824-8311